



令和5年3月14日

報道関係者 各位

市川市 街づくり部長 川島 俊介

## 「第16回市川市景観賞」決定と授賞式の開催について

市川市景観賞は、市民や事業者による積極的な景観まちづくりを促進するため、良好な景観の形成に貢献する活動を行っている個人や団体を表彰する制度です。

これまでに62組が受賞しており、第16回を迎える今回は、6件10組の受賞者が決定いたしましたので、下記の通り授賞式を執り行います。

### 記

#### 1. 日時

令和5年3月24日（金）10時00分～10時30分

#### 2. 場所

市川市役所第1庁舎 1階 ファンクションルーム

#### 3. 内容

第16回「市川市景観賞」授賞式（6件）

##### ① 後藤照江氏・大屋好成氏

〈活動内容〉後藤家住宅の管理・保全活動

〈受賞理由〉大正15年に建てられた後藤家住宅は、数寄屋風のお屋敷住宅という特色を持った、良質な近代和風住宅となっている。老朽化に伴い、平成24年に大屋好成氏によって、創建当時の姿を残しつつ耐震と快適な居住環境を備えた改修工事を行ったことで、戦前の住宅が現代に蘇り、地域の伝統的景観を今に伝えている。

平成29年6月に登録有形文化財に登録されている。

（登録番号：第12-0217号）



② 合同会社つみき設計施工社 代表取締役 河野直氏

〈活動内容〉市川の風景をみんなでつくる DIY ワークショップ-12年間の活動

〈受賞理由〉2010年から市川市を拠点に DIY ワークショップを開始した。

参加型リノベーションは自ら作る素晴らしさと楽しさを専門家のみならず、住民間にも共有し、DIY を習得することでその後の住民自らの景観づくりの促進が期待できる。

市民一人ひとりが景観まちづくりに自ら参加していく中で、住む街への愛着や誇りを持ち、良好な景観形成に寄与することが期待できる。



③ 三井不動産株式会社・月島機械株式会社・鹿島建設株式会社

〈活動内容〉三井不動産ロジスティクスパーク市川塩浜Ⅱの設計・建築

〈受賞理由〉海と共存する市川塩浜の地歴から、シーサイドリゾートをコンセプトにして開放的なデザインとした。リゾートでの寛ぎをテーマとし、働く人々の活気や賑わいのシーンを紡ぎだすワークスペースとなっている。

敷地北側に設けた緑地は、行徳近郊緑地や三番瀬に生息する野鳥や昆虫の移動経路として機能する森を育む試みで、生態系保全・維持への貢献が期待される。

夜間にはライトアップ、オフィスから溢れる明かりが路面を照らすことで、倉庫街の安心・安全な街並みの形成に寄与している。



④ 篠田喜義氏

〈活動内容〉レンタルスペース「オアシス妙典」

〈受賞理由〉昭和9年に仮住まいとして建築され、後に酒屋の倉庫とされていた古民家を、再生・活用したものである。

松の無垢材(最長11m)が使用された当初の躯体を活用し、耐震性や快適性を高めるための改修工事を行った上で、地元の人々が自由に使用できるレンタルスペースとした。

また、通り側には入口を設けず、主屋とのファサードの連続性に配慮した格子窓を設置するなどの工夫がされており、地域の良好な景観形成に寄与している。



⑤ 道の駅いちかわ 駅長 麻生岳人氏・ガーデニングボランティア

〈活動内容〉道の駅いちかわでの啓発イベント

〈受賞理由〉コロナ禍でも年中無休で営業している道の駅で、駅長の発案により、2020年6月から活動しているガーデニングボランティアが手入れをする7つの花壇を中心にイベントを開催している。

これらのイベント活動を通して、市民がガーデニングへの興味・関心を持つきっかけとなり、施設や街への愛着心の醸成や地域コミュニティ形成への貢献も期待される。

今後もこのような花とみどりがあふれる景観活動を続けることで、自分の街への愛着が深まることが期待できる。



⑥ 大柏川かはづ会

〈活動内容〉大柏川周辺における緑化・清掃活動

〈受賞理由〉ごみを拾うだけでなく、捨てさせないことを目標として、大柏川周辺の緑化・清掃活動が行われている。会員が10年間毎日2時間ほどごみ拾いを続け、夏期は中高生のボランティアを受け入れることで、訪れる人を楽しませ、自ら自分たちの街をきれいにする大切さを学ぶ機会を設けている。

植栽活動では、草むしりや植えた花の水やりを行っており、左岸側道路に約70mの植栽、農家に休耕地を借りて野菜やひまわり畑を作るなど、街のみどりを豊かにしている



以上

(問い合わせ) 街づくり部 街づくり計画課長 中原 基貴  
TEL 047-712-6323